～200号のあゆみ

【主な特集】

140号　132号　116号　100号

住民の声を聞く（132～172号）

【主な変化点】

町村議会広報
全国コンクール
優良賞

あいらぶマイタウン開始
児童・生徒さんの文に牧野さんが
毎回挿絵を描いてくれます

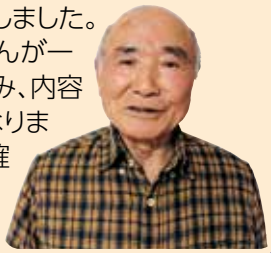
オールカラーで見やすく
115号は２ページから２色
116号よりオールカラーに

【当時の表紙】

牧野さん

池田（いけだ） 久男（ひさお）さん

①女性の感性も生かして、写真を多く入れ、色づかいと見出しを工夫し街で町民の声を丁寧に伺い、親しまれる誌面を目指しました。
②現委員の皆さんが一生懸命取り組み、内容がぐっと良くなりました。広報は確実に変わってきています。



鈴木（すずき） 三津男（みつお）さん

①若さ溢れる幸田町議会を示すために、子どもたちの笑顔を中心に表紙を作成した。
他の市町村と比べて遜色ない構成・企画をかんがえた。
②議会だよりは、議員のいのちと信じて、発行してください。

受賞した当時の議長・委員長さんに
①当時の思い
②今の議会広報と広報委員に対するお言葉
をいただきました。

議会広報誌100号

200号 180号 174号 148号 144号

タウンミーティング（180～188号）

広報こうたと区別
表示ロゴの変更
同コンクール
奨励賞

町民の登場を増やす
表紙に組み写真も取り入れ

同コンクール
優良賞

同コンクール
奨励賞

原稿作成の今と昔

今：タブレット端末
192号（令和７年４月）～

昔：鉛筆で手書き

効果：編集作業が４時間短縮

大嶽（おおだけ） 弘（ひろし）さん

①「無事これ名馬」
通巻200号は、名誉で名馬と感じます。当時、記事「見出し」の書き方を現役の新聞記者から学んだことを思い出します。

②今後は、AI時代の中、進化が楽しみです。